

朝日・明和地区の恒例行事 お盆帰省者歓迎の 球技大会を開催！

朝日地区と明和地区で恒例になっている、各集落対抗「お盆帰省者歓迎野球・ソフトボール大会」が今年も盛大に開催されました。朝日地区では8月14日に「朝日地区親善ソフトボール大会」が行われ、6チームの参加があり、楢戸チームが見事優勝しました。

8月16日に行われた明和地区の「お盆帰省者歓迎野球大会」では、6チームで優勝を争い、小林チームが優勝を果たしました。大会終了後には、慰労会などが各々行われ、帰省者との交流を図りました。



▲写真／朝日地区親善ソフトボール大会ホームラン競争の様子



▲(只見地区)おはやしを演奏するチャレンジ隊



▲(明和地区)見事な仮装を披露した子どもたち

各地区で開催

「夏の盆踊り」楽しく賑やかに！！

お盆の夜に、只見地区と明和地区で盆踊り大会が開催されました。只見地区納涼盆踊り大会は只見若衆会の主催で、14、15日に沖下駐車場で行われました。只見小学校なんでもチャレンジ隊やそのOBである只見中学生、若衆会員がおはやしを披露し、住民や帰省客がやぐらの周りで輪をつくり踊りました。併せて14日には有志による花火大会も盛大に行われました。

明和地区盆踊り仮装大会は、明和青年団が主催で15日に明和振興センター駐車場で行われました。恒例の仮装大会では、団体が4組、個人参加3人が参加され、会場を盛り上げました。また、花火大会の後には大抽選会が行われ、ディズニーペアチケットなどが参加者に送られ、会場は熱気に包まれました。



せいた
湯田 誠汰くん
(坂田)

虫歯の
ない子



(8月2日
3歳児健診)

JR只見線募金を頂きました！！



▲目黒町長へ募金を手渡す
吉津さん(左)

8月24日、ヤマザキショップ松屋酒店の吉津年浩さんより、3年間店内に設置した募金箱で集めた只見線募金「114,599円」が目黒町長へ手渡されました。吉津さんは「只見線の復旧に役立てて欲しい」と述べられました。

只見町ブナセンター 講座と観察会を実施



ブナセンター講座

7月30日(土) 「只見地域で見られるカミキリムシ類とその生態」

只見町では、2014年、2015年に、ユネスコエコパーク事業のひとつである自然環境基礎調査として、昆虫相調査を行いました。只見町は山深く、そこにどんな生物が生息・生育しているか、未解明な部分が多くあります。今回の調査で明らかになった只見町の昆虫相、甲虫類について、調査を担当された榎原寛氏(森林総合研究所)に解説していただきました。はじめに、榎原氏が専門としているカミキリムシ類について、形態、食性、身を守る方法(擬態)などが種によって異なることなど、カミキリムシを理解するポイントを教えてもらいました。



▲セミナー室いっぱいの参加者

続いて只見町の昆虫相の特徴をお話いただきました。カブトムシが小型であること、クワガタムシの種類が多様であること、大曾根湿原での珍しい甲虫の発見、良好な森林の指標種が多いこと、マイマイガの大量発生時にチョウの幼虫を食べる昆虫が増えたことなどが報告されました。只見町の昆虫相の特徴を端的にまとめていただき、只見町の自然を理解するすばらしい機会となりました。26名の方にご参加いただき、ジョークを交えての榎原氏の人柄が表れる講座を楽しみました。なお、これらの成果は、現在開催中の企画展で、豊富な標本とともに見る事が出来ます。

自然観察会

7月31日(日) 「昆虫採集と観察会」



▲たたき網と棒を使って昆虫を捕まえる参加者

講座の翌日には、榎原氏と一緒に昆虫採集をし、捕まえた昆虫の説明をしてもらいました。観察場所は梁取の学びの森です。事前に昆虫を捕まえるバナナトラップや枝トラップを仕掛けていたのでそれらを確認しました。それからたたき網と棒で枝をたたいて落ちてきた昆虫を捕まえました。当日までに雨が多かったので採れた虫は少なかったですが、それでもカミキリムシ、クワガタムシなどの甲虫が10種類程度捕れました。中でもヨコヤマヒゲナガカミキリは、ブナ、イヌブナの生木を食べる珍しいカミキリムシです。成虫になると若い枝を求めて木の上の方に移動するのでなかなかお目にかかれないそうです。ちょうど成虫になって出てきたところを捕まえられました。今回の観察会には9名の参加がありました。参加者の皆さんは昆虫を捕まえている間、童心にかえって楽しんでいました。